

2020年度後期 講義概要

授業科目名	日本語表現法
主担当教員名	神田大輔
配当学年 等	看護学科3年
学習目標	1. 分かりやすい日本語表現ができる力をつける。 2. 説得力ある仕方で自分の意見を述べる力をつける。
授業概要	自分の伝えたいことを正確に表現する方法と、論理的に考え、表現する方法を学習する。

授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	課題 有・無	授業形式 (原則、対面。)
令和3年02月02日(火)	3時限	神田大輔	論理的な文章・論文とはどういうものか	論文についての概要	無	対面
令和3年02月02日(火)	4時限	神田大輔	語について	正しい語の使い方	有	対面
令和3年02月03日(水)	1時限	神田大輔	注と文献表/文について①	引用の仕方/文の基本形	無	対面
令和3年02月03日(水)	2時限	神田大輔	文について②	文のよじれ、文末表現	有	対面
令和3年02月04日(木)	1時限	神田大輔	文と文の関係①	接続表現(順接、逆接)	無	対面
令和3年02月04日(木)	2時限	神田大輔	文と文の関係②/論文作成	論文作成	有	対面
令和3年02月05日(金)	1時限	神田大輔	段落と論文全体の構成について	序論・本論・結論の三段構成	無	対面
令和3年02月05日(金)	2時限	神田大輔	論文作成	レポート執筆作業	有	対面
授業形式・ 視聴覚機器の利用	講義形式で行う。 また二回に一度(つまり授業日ごとに)WebClassを利用してその日の授業内容に関わる課題を課す(締め切りは授業日の夕方)。					
評価方法	平常点(50%)とレポート(50%)の合計が60%以上を合格とする。レポートの評価基準は授業内で説明する。					
教科書・ 参考文献	松葉祥一『ナースのための実践論文講座』(人文書院、2007年)					
学生への メッセージ	授業では、日本語の表現力や論理的な思考力を高めるための練習を行います。また、皆さんに書いてもらった文章の添削もする予定です。これらのことを通じて、論理的な文章の書き方を身につけて欲しいと思います。					